

鳥羽市全員協議会会議録

令和 6 年 9 月 2 4 日

○出席議員（１２名）

１番	世古雅人	２番	山本欽久
４番	瀬崎伸一	５番	南川則之
６番	濱口正久	７番	山本哲也
８番	河村孝	９番	戸上健
１０番	木下順一	１１番	坂倉広子
１２番	尾崎幹	１３番	世古安秀

○欠席議員（なし）

○出席説明者

・榎健康福祉課長、北村子育て支援担当副参事、大矢子育て支援室長

○職務のために出席した事務局職員

事務局長 岩井 太
議事総務係 岡村 なぎさ
書 記

次長兼 平山 智博
議事総務係長

(午後 1時51分 再開)

○河村 孝議長 皆さん、行政常任委員会に引き続き、お疲れさまでございます。

ただいまから全員協議会を再開いたします。

本日の案件につきましては、ドライブに共有してあります事項書のとおりでございます。

それでは、協議事項に入ります。

協議事項1、執行部報告事項。

①船津保育所の今後についてであります。

それでは、担当職員の説明を求めます。

子育て支援担当副参事。

○北村副参事 健康福祉課子育て支援担当副参事の北村です。本日はよろしくお願いいたします。

お時間のほう頂戴してありがとうございます。

今回、全員協議会のほうに提出させていただいた資料なんですけれども、船津保育所の今後について、今から説明させていただきます。

先ほどの所管事務調査の政策提言の中にも入ってございましたが、今後、子供の少子化に伴って施設の統廃合、これを考えていかなければならないという中で、今回は船津保育所についてご説明をさせていただきたいと思っています。

それでは、スライドの2つ目をご覧ください。

船津保育所ですけれども、施設の安全性の確保が厳しさを今、増している状況となっています。鳥羽市立船津保育所につきましては、昭和50年に開所してから今年で49年が経過しておりまして、建物及び附帯設備が老朽化をしております。

直近3年間の修繕工事の状況をこちらに掲載しておりますが、その令和3年度以前もほぼほぼ毎年このような工事が発生しておりまして、対症的な工事をずっとやっている状況となっております。

続いて、3のスライドをご覧ください。

その他保育環境に支障を来す事案が発生をしております。例えば、建物のコンクリートの経年劣化による雨水の進入や雨漏り、保育室や調理室のエアコン故障による室温上昇の危険ということで、特に調理室にしましては、気温が上がりますと、その食中毒等の発生のおそれがあるということで、エアコンが故障しないように対処はしていますけれども、毎年のようにエアコンは壊れる状況です。地盤沈下により浄化槽の勾配に問題が発生し、排せつ物が流れにくい状況ということで、こちらもある程度対処はできているんですけれども、抜本的な勾配を直そうと思うと、もう相当な大規模工事をしなければいけないということから、なかなかちょっと厳しい状況となっています。

それから、大雨時に山側というのは、ちょっと場所が分からない方もいらっしゃるかもしれませんが、園庭のフェンスの向かい側に民地の山があります。そちらから、大量の雨水や土砂が園庭側溝に堆積をしまして、その溢れた雨水が園庭に流入し、砂が流れる被害が発生しております。

また、急傾斜地の樹木、これもその山側の樹木なんですけれども、そのフェンスを越して園庭側にまで生い

茂っている状況となっております。

それから、鹿とか獣の進入によって園庭の中で育てている植物等の食害であったり、あとふんの害、それから、毎年スズメバチ等が蜂の巣をつくるということで、それが頻回しているような状況となっております。

あと、船津保育所に関しましては駐車場がございません。ということで、保護者さんは前の道路にカーブ沿いに止められて送迎をしていただいているんですけれども、送迎に関する近隣住民等からの苦情も保育所のほうには入っている状況です。

続きまして、スライドの4をご覧ください。

少子化により入所児童数が減少をしております。この表は、一番左から2番目の列が令和元年度です。そして、一番右の列が令和6年度で、この6年間の間に、5歳児からゼロ歳児の子供の人数を示した表となっております。下から2行目の合計の行をご覧ください。令和元年度は83人のお子さんがいましたが、今年度につきましては43人ということで、約半分にお子さんが減っております。

参考に、鳥羽市の年間出生数、一番下の行ですけれども、こちらが令和元年度105人のお子さんが生まれていましたけれども、令和5年度は57人ということで、こちらも約半数に減っているということで、この出生数と船津の入所の児童数は、ほぼリンクしているような状況となっております。

次、5枚目のスライドをご覧ください。

今後も児童数は減少の見込みということで、こちらはこの7月に予測をしているものですが、同じく左から2列目が令和6年度です。こちらの児童数は、今43人です。これが、令和7年、8年、9年、10年とだんだん1学年ずつ上がっていくわけですが、令和10年度、5年後には入所見込みとしては、10人プラスこれから生まれてくる？の人数になるであろうというふうに見込んでおります。ただし、この見込みについては、保護者の転出入であったり出産の状況によって多少の増減が予想されます。

続いて、6枚目のスライドです。

こちらは、船津保育所に限った話ではありませんけれども、人口減少や高齢化によって保育士や給食調理員の確保が困難な状況となっております。入所児童を安全・安心に保育する環境を整えるため、毎年保育士や調理員を確保するように努めていますが、そもそも鳥羽市の人口減少が起こっていることや、あと、高齢化も進んでいることから働き手そのものが不足をしております。常に職員募集をかけている状況となっております。そういったことから、特にゼロ歳から1歳児の途中入所を希望する保護者さんには、待機児童としてお待ちいただくざるを得ない場合があるということです。

続きまして、スライドの7をご覧ください。

こういった理由から、市としましては2年半後、令和9年4月に船津保育所を閉じて、安楽島保育所のほうへ移転統合することを予定したいと考えております。この表は、先ほどの表の再掲ですが、下のほうに米印でこの移転統合を予定するお子さんなんですけれども、対象となる児童は、令和6年度時点でゼロ歳から2歳児です。3歳以上のお子さんについては、令和8年度までに船津保育所で退所いただくということから、この令和9年4月に安楽島保育所のほうへ移転するお子さんは、ここの令和9年度四角囲みになっていますが、15人プラス、これから生まれてくるお子さんの人数が移転対象人数となるということです。

続きまして、8のスライドです。

移転統合先として予定している安楽島保育所と旧ゆめぱーる施設です。

まず、鳥羽市立安楽島保育所につきましては、令和6年度今年度の入所児童数が121人となっていて、平成27年に開所し、ご存じのとおり高台に立地しております。それで、船津保育所から安楽島保育所までの距離ですけれども、約1.8キロメートルで、所要時間ですけれども、自家用車で時速40キロメートルで走行した場合は約3分となっております。

それと、旧ゆめぱーる施設、安楽島保育所のはす向かいにある建物です。こちら旧鳥羽市障がい者福祉センターゆめぱーる、平成25年に竣工した建物ですけれども、こちらを活用して安楽島保育所の別棟等として改修をしていきたいと考えております。

次に、9のスライドをご覧ください。

今後の予定（案）です。令和6年度、令和7年度、令和8年度、令和9年度で、右の列が四半期ごとです。4月、6月から1月、3月まで四半期ごとの予定で表となっていて、まず、令和6年度7、9月のところに船津保育所保護者会説明ということで、先週の水曜日に保護者会のほうを開いて、このことについて保護者さんのほうに説明をさせていただきました。いろいろとご質問はいただきましたが、特段この船津保育所を安楽島保育所に移転統合することに対しての反対のようなご意見は頂戴はしませんでした。令和6年度に関してはそのような予定であります。

それで、この表には書いておりませんが、10月以降、令和7年度の当初予算のまた要求の時期になってまいりますので、健康福祉課としては、来年度のゆめぱーる設計に向けて予算要求をしていきたいと考えております。

令和7年度につきましては、もちろんこれは議会のほうで予算が通ったらのお話ですけれども、7月から9月頃にかけて旧ゆめぱーる施設の改修設計のほうに入っていきたいと考えております。それと併せて、毎年10月号の広報で行っています保育所の新入所児の募集なんですけれども、令和7年度と令和8年度に関しましては船津保育所の入所児の募集をもう停止をしていきたいと考えております。

設計のほうが、令和7年度中いっぱいまでかかるかなというふうに考えておまして、続きまして、令和8年度こちらに関しましては、また当初予算のほうで旧ゆめぱーる施設の今度は改修工事のほうをのせていきますので、こちらをまた建設課のほうに委託をして工事のほうを行っていきたいと考えております。

こちらこの矢印のとおり12月か、もしかしたらもう年明けまでかかってしまうかもしれませんが、工事のほうを行いまして、最終3月に現船津保育所のほうを開所する予定で、退所式と一緒に閉所式を考えております。

そして、令和9年4月に安楽島保育所のほうに移転統合する予定であります。こちらのほう、また企画財政課のほうが全協のほうで大規模ハードの説明を今後されると思いますけれども、そちらのほうには、このゆめぱーる施設のほうの改修設計とか工事のほうも入っています。

最後に、スライドの10ですけれども、移転統合する新保育所名についてということで、例として鳥羽市立あおぞら保育所のほう挙げさせていただきました。当時、旧池上保育所、旧鳥羽保育所、旧小浜保育所の3保育所が統合した際に、この市民公募によってあおぞら保育所という名前になったということです。今後、安楽島保育所のほうへ移転統合していくに当たって、その新保育所名、そもそも安楽島保育所という名前を変える

のかどうか。変えるのであれば、どういう名前にするのかということも含めて保護者会等と検討をしていくということになっております。

右のこの絵は、8月号の広報に鳥羽東中の今度新しい中学校名を募集の記事が載っておりましたので、それを参考に掲載をさせていただいております。

最後に、先ほど保護者会のほうで説明は終わったということですが、それから先週の金曜日に改めてその保護者会に来ていない保護者さんも含めて、船津保育所の全保護者さんにこの内容のチラシをお配りしたのと、安楽島保育所のほうにも同じような内容のチラシをお配りしております。今のところ、特段この件に関して何か保護者さんからご意見等は伺ってはおりませんが、現在としてはそのような状況となっております。

説明は以上になります。

○河村 孝議長 説明は終わりました。

この件について、ご意見、ご質疑はございませんか。

坂倉議員。

○坂倉広子議員 船津保育所の今後についての説明を伺いました。船津保育所もう老朽化ということで、もう再々私も地元でありますので、もう創意を工夫していただいて、もう保育士さんの対応、また所長先生の対応ずっとしていただいていたのは承知しております。

説明いただいた中で、保護者の説明が9月20日の日ですか。されたということですので、ご異論はないというのは思います。そして、この中の説明の中で今後の予定ということで、これ移転統合先として予定している安楽島保育所と旧ゆめばー施設というところの資料を見させていただきまして、山本哲也議員も一般質問されたと思いますし、私もずっと以前からこども園のことはお伝えさせていただいたのは承知していただいていると思いますが、ゆめばーを今後活用していくという中で、こども園という形でこういうふうに紛れもなく子供さんの少子化になってきているのは当然でありますので、先見の明を持っていかないと私は駄目なんではないかなと思うんですね。

それで、安楽島保育所と別棟という形でありますけれども、せっかくリニューアルするということであるのであれば、こども園としてもめ幼稚園が子供さんのこともありますので、そういうことを検討されたのかどうか、あくまでも保育所は保育所としての考えであったのか、ちょっとこのところを聞かせていただきたいと思います。

○河村 孝議長 北村副参事。

○北村副参事 ご質問ありがとうございます。

こども園の検討につきましてですが、おっしゃるとおりこども園の検討もしておりました。昨年度、半年間かけて教育委員会さんともお話をしておまして、その認定こども園化にするのか、それとも保育所の統合にするのかということで議論を重ねてきましたが、教育委員会のほうの考え方もちょっといろいろありますので、今回は一旦保育所の統合を先に進めるということで、教育委員会のほうとも一応認識は同じにしております。

ただ、教育委員会のほうのいわゆるかもめ幼稚園のほうも子供は確かに減ってきている状況ではありますの

で、今後教育委員会の中でその辺りをまた整理をされて、何かしらの方向性は出されるものと思っておりますが、これ以上は私からはちょっと差し控えさせていただきたいと思います。

○河村 孝議長 坂倉議員。

○坂倉広子議員 ご答弁ありがとうございます。

検討されたということですので、今後とも何ていうんですか。やはりいろいろ耐震化とか、こういうふうな災害があったりということもありますので、そういうところも安心・安全なところへの子供さんたちが安心して預けられるところを今後考えていただきたいなと心から思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○河村 孝議長 ほかにございませんか。

尾崎議員。

○尾崎 幹議員 保育環境の問題で、まず船津保育所自体が、今から12年か15年前に壁のコンクリートブロックの亀裂が入って、そやでここに書いてあるように地盤沈下が起こっていると思うんです。それで、表づらだけ直しているだけで、これあと3年というのは、もう地盤は大丈夫なの、まず。こうやって説明を受けられども、いろいろなものが流れてきたりとか雨降るたびにやっぱり問題が発生していますよね。地盤自体がもう悪いのは、もう十何年前から言われているのに、これをまだ3年かけて前倒し前倒しでしていくのが本来は子供の安全を守るという観点からいけば、もう来年でもしてほしいぐらいなのに、そこら辺は議論なかったんですか。

○河村 孝議長 北村副参事。

○北村副参事 おっしゃるとおり、そのコンクリートの地盤の懸念というか、それは承知しております。建設課のほうで、いわゆるその地盤のその隙間ですね。そこは測っていただいておりますので、特段大きな今のところ変化はないんですけれども、おっしゃるとおり、じゃずっと放っておいていいのかというところもあつて、なので今市が取り得る最短のスケジュールがこれということで、申し訳ありませんがちょっとご理解いただきたいと思います。

○河村 孝議長 尾崎議員。

○尾崎 幹議員 一生懸命やってもらっていると思うんですけれども、ただ、本当に能登半島の集中豪雨や地震が叫ばれている中で、いざ起こったときには、やっぱりあの壁は崩れるんじゃないかという危機感はすごく持っていますので、できるだけ早く予定を前倒しできるように努力してもらえれば、僕に関してはもうそういう問題だけです。早く子供たちがより一層大きな輪の中で学べるということが一番いいと思います。よろしくお願いします。

○河村 孝議長 ほかにございませんか。

世古雅人議員。

○世古雅人議員 私は、この議論は行政常任委員会の中の所管事務調査でも提案させてもらいましたけれども、この議論はいつぐらいからかというか、どれぐらい前からこういう議論されていますか。

○河村 孝議長 北村副参事。

○北村副参事 市長、副市長、私とのこういうやり取りの中では、市長からできるだけ早くしてほしいとい

う要望はいただいております。先ほどもお答えさせていただいたとおり、教育委員会との協議は昨年度から毎月行っております。

○河村 孝議長 世古雅人議員。

○世古雅人議員 やはりこういうことは、今さら言ってもいかなのですけれども、本当に早く、これはもうトップからの指示だと思えるのですけれども、早くやっていかないかん、かなり前からやっていかないかんのかなと。

それで、先ほど坂倉議員が言われたように、やはりこれは統合するのであれば、なかなか教育委員会が答えが出しにくいとか、そういうことは非常に調整が難しいこともあるかとは思えるのですけれども、やはり統合するに当たっては、施設が何も変わらなくて統合するだけだったら私こういうことは何もないと思えるのですけれども、やはり新たな施設に統合せざるを得ないのかというのが1点。

確かに人数が急に減っていくわけでもないのですが、年度的に減っていった中で、市街地周辺のあおぞら保育所と安楽島保育所だけになったときにどういう状況になるかとかそういうことも考えながらやっていく中で、新たなゆめばーるを利用するのであれば、かもめ幼稚園そこは難しいと思うとか、反対的な人もいると思うのですけれども将来的なことを考えないと、今まで鳥羽市が学校建設に当たっても保育所、いろんな大きな事業というか統廃合していく中でみんな後手後手というか、それをやっぱりすごく懸念しますので、やはりちょっと聞きたいのが、統合するに当たっては今言いましたあおぞらと安楽島のその2つの保育所で実施した場合に、どれぐらいのあふれるというか、ちょっと人数的にとか部屋のにとかそういったところは、検討されてどういう結果だったのかなというのをちょっと聞きたいのですけれども。

○河村 孝議長 北村副参事。

○北村副参事 それは、ゆめばーるが開所された後のお話……

（「されなかったときの」の声あり）

○北村副参事 それもちろん検討させていただいております。ゆめばーるを改修しないと、やはりちょっと後5年は厳しいかなというふうに考えております。

ただ、それもこれからの出生数予測によりますので、多少の増減はあるとは思いますが、やはりちょっとゆめばーるを2年半後に改修をして、そこである程度のキャパシティが生まれますので、それで収まると。そこからまた、もしこの感じでお子さんが減っていくと、最終的にはゆめばーるは使わないというか、今の安楽島保育所でも収まっていく数にはなるかもしれませんが、少なくとも2年半後は、かなりまだそれは厳しいと思います。

○河村 孝議長 世古雅人議員。

○世古雅人議員 そのあたりも副参事はきちんと検討されて、数字的なものもされていると思うのですけれども、やはりやっぱりお金だけとかそれで行政運営はしてはならないのかなというのがありますので、私も決して金が無駄になるとかそういうことで言っているんじゃないのですけれども、やはり将来的なこととか、今のかもめ幼稚園が海拔表示とかそういったところがとか、災害時にも危険である。かなり前にそういうところで高台移転とかも盛んに言われた中で、ただ幼稚園と保育所の教育的なというか、預かりの中の違いがどれほどあってというのを最近はどうそんなに変わらないですよというのを、私たち所管事務調査の中でも保育士さんがかなりそのことも言うておられたので、やはりそういうところを預けている保護者の親御さんなんかにも、きち

んと説明しながらやっていただければなと思いましたので、こういうことを聞かせてもらいました。

以上です。

○河村 孝議長 ほかにございませんか。

南川議員。

○南川則之議員 そのゆめば一るのことをお聞きしたいんですけども、今、船津保育所を閉所するためにとりあえず改修ということなんですけれども、そのゆめば一るの施設を全体を改修するのか、あるいは今の船津保育所の分というか、一部分を改修するのとか、人数も最大どのぐらいのゆめば一るで見込んでいるのかというのも教えてほしいのと、それともう1点は、船津保育所を閉所した後というのは、先ほど副参事が言われたように、現状でもいろんな問題が起こっておって、管理も大変だということで、その閉所した後の船津保育所の施設の管理とか解体も含めてだと思んですが、どのように考えているのかというところを2点お聞きします。

○河村 孝議長 北村副参事。

○北村副参事 まず、1点目のゆめば一るの改修につきましては、基本的には全体を考えております。ただ、一部障がい者福祉施設ということから、例えば大きな浴槽とかがあるんですけども、そういった部分に関しては、もしかしたら撤去費用が物すごくかかるのであれば、もうそこは触らず、例えば倉庫等にする等はあるかもしれませんが、基本的には全棟を改修していきます。

そのゆめば一るの中に何歳児のお子さんを入れるかとか、そのあたりはこれから保育所長会と議論をしていくわけなんですけれども、令和8年度以降、こども誰でも通園制度というのが全国的に始まるということもありまして、そのあたりも含めてこの建物をどのように子供の施設として使っていくのかということ、来年度の設計の中でいろいろ議論しながらちょっと考えていきたいというように思っております。

それと、2点目の閉所後の船津保育所の在り方につきましては、申し訳ありませんが、まだちょっとそこは決まってはおりませんが、建物自体は耐震化は実は、耐震化されているというか、もともと新耐震基準で建っている建物ですので、耐震は一応あるとは思っております。

それは、例えば市の倉庫にするのか、それとももう除却して更地にしてしまうのかは、そこは申し訳ないですが、まだ全く何も決まっていない状況です。

○河村 孝議長 南川議員。

○南川則之議員 移転は、いろんな条件でされるということで、現状は閉所した後そういった形で管理不全にならないようにということで、その辺一番大事なところかなと思いますし、また、付近の先ほど副参事が言ったように、山からの雨水とかそういったところの問題とか獣害の問題も言われたということで、いろんなことで管理が必要なことも出てきますので、ぜひ設計の段階でそこら辺もどうするんだということも含めて、財政と十分協議しながらやってほしいのと、それと、ゆめば一るのところというのは、まだまだ設計の段階ということで、そこに入っているいろんな議論をされるということなんですけれども、ひょっとしたら将来人数が少なくなってきた使わない施設になってしまうということも考えられますし、どれだけの規模でどういう改修をするかということも含めて、先ほどこども園の話も出ていましたけれども、最大限に活用することが、今本当に財政ひっ迫している中で必要じゃないかと思えますし、それだったら、もうゆめば一る使わずに、安楽島保育所を2階建てにするとかいろんな議論というか、安くて効率のいい園にするということはいろんなことができ

と思いますので、いろいろ検討しながら設計の段階で協議してほしいなと思います。これは要望ということで、よろしくお願いします。

以上です。

○河村 孝議長 ほかにございませんか。

戸上議員。

○戸上 健議員 安楽島保育所、現在121人と報告です。定数は130人ですから、現在でも9人少ないと。4年後の令和9年に15人プラスアルファだけでも、船津から安楽島保育所に行くんですね。4年後ということは、安楽島保育所ももっと減っているんじゃないかと。そうすると、ゆめばーるは果たして必要なのかというふうに僕は思うんですけども、そのあたりはどういう計算をなさったんでしょうか。

○河村 孝議長 北村副参事。

○北村副参事 おっしゃるとおりです。安楽島保育所も2年半後には、実際数としては減ってきます。ただ、これ確かに定数としては130、1クラス大体、例えば5歳児、4歳児、30人ぐらいの部屋の人数割りなんですけれども、これは保育士の意見ですが、30人の部屋に30人子供を入れて保育するのは、正直あまりいい保育の仕方ではないというのが、保育士さんのご意見なんです。やはり船津保育所ぐらい、ちょっとゆったりというか、30人の部屋を15人、15人ぐらいに分けて保育するというのが、望ましい保育の仕方というふうに言われますので、子供の人数が減ったから収まるんじゃないかという議論は確かにあるんですけども、そこを逆手に取ってゆったりとした保育をするという方法は、これから目指すべき保育なんではないかなというふうに思っております。

○戸上 健議員 なるほど。はい、よく分かりました。

以上です。

○河村 孝議長 ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

○河村 孝議長 よろしいですか。

終わり前に私から一言。

今回の全協の申入れで丁寧な説明をしていただいたことというのは評価したいと思うんですけども、北村副参事の説明の中で保護者の説明会を先に行ったというところ、たしか北村副参事からは、ゆめばーるの改装も含めて統廃合の検討を課内でしているというところまでは正副の報告は受けていたと思うんです。そこから、統廃合決定という今回の決定の報告は受けていません、私は。だから、今回の全協だったとは思いますが、本来ならば保護者会説明する前に、当然この内容というのは条例の改定であり、関連予算というところで議会の議決事項になる話なので、本来ならば保護者に説明する前に議会に説明をするというのが、本来の形であると思うんですけども、北村副参事、以前事務局にもおったので、その辺は忙しい中で失念していたのかなという解釈なんですけれども、以後そういったところは気をつけていただくようお願いしたいと思いますけれども、いかがですか。

北村副参事。

○北村副参事 申し訳ありません。順番が逆になってしまいました。

保護者さんにご説明するときも、もちろんこれは決定事項ではないというか、あくまで市が今、検討事項ということでご説明はさせていただいたんですけども、保護者さんからすると、市から説明したらもうほぼ決定事項みたいなふうにとられてしまっているところあると思うんですが、以後気をつけたいと思います。

○河村 孝議長 よろしく申し上げます。

以上で、本日の協議事項は全部終了いたしました。

これをもって全員協議会を散会いたします。

(午後 2時27分 散会)

議長はこの会議録をつくりここに署名する。

令和6年9月24日

鳥羽市議会議長 河 村 孝